

# 【英検®準 1 級】要約問題 完全攻略ガイド

## 1 要約問題[傾向と遺作]

要約は「英語を書く力」だけではなく、長文を構造で読む力(論点整理) + 情報を削る力(抽象化) + ミスなくまとめる力(整形) が同時に試されます。ただし、型と手順を固定すれば、得点は安定します。

---

### ➤ 準 1 級 要約問題の試験内容

要約問題は、一次試験ライティングのうちの 1 問です。

- 英文: およそ 200 語程度
- 構成: 3 段落の基本
- 語数: 60~70 語で要約(語数は厳格)
- テーマ: ビジネス/政治/環境/教育/社会課題など

ポイントは、「細部の知識」よりも、各段落の要点を 1 つずつ拾って一貫した要約にすることです。

---

### ➤ 2) 採点の仕組みと目標点

採点は 4 観点(各 0~4 点)の合計 16 点です。英作文と合わせて 32 点満点になります。

- 内容(Content): 全段落の要点が入っているか/主旨がズレていないか
- 構成(Organization): 論理の流れが自然で読みやすいか
- 語彙(Vocabulary): 準 1 級相当の語彙を適切に使えているか/同じ表現の繰り返しがないか
- 文法(Grammar): 文構造が正確か/単調すぎないか

目標は 12 点以上。さらに注意点として、構成・語彙・文法が良くても、要約として内容が不十分と判断されると 0 点になる場合があります。解答欄の外に書いたものは採点対象外です。

---

### ➤ 3) よく出る文章構成(3 段落の型)

準 1 級は、次の 2 パターンが特に多いです。

#### A. 意見の対立型

1 段落: 話題の提示 / 2 段落: 賛成意見 + 根拠 / 3 段落: 反対意見 + 根拠

#### B. 影響の比較型

1 段落: 話題の提示 / 2 段落: メリット / 3 段落: デメリット

結論として大切なのは、「1 段落 = 要点 1 つ」を落とさず拾うことです。どれか 1 段落が抜けると、内容点が大きく崩れます。

---

➤ 4) 解答の流れと時間配分(15分設計)

一次試験(Reading+Writing)は90分。要約は約15分を目安にします。

読解(4分) / 要約作成(8分) / 見直し(3分)

※下書きを長く取ると時間が足りなくなるので、メモは最小限にします。

---

➤ 5) 手順① 英文読解(4分)―「線を引く場所」を固定する

読むときは、以下だけに集中します。

- 1段落:話題(テーマ)と背景
- 2段落:良い点/賛成の理由
- 3段落:悪い点/反対の理由(または限界)

特に、次のようなつなぎ語(ディスコースマーカー)の直後は要点が来やすいです。

- 追加:also / in addition / moreover
- 因果:because / therefore / as a result / thus
- 対比:however / on the other hand / in contrast / whereas
- まとめ:overall / in short

数字や具体例は原則カット対象。要点は「一般化」して拾います。

---

➤ 6) 手順② 要約文作成(8分)―「3文テンプレ」に当てはめる

【基本テンプレ(3文)】

- 1文目:話題+背景(何の話か)
- 2文目:プラス面(理由:効果)
- 3文目:マイナス面(問題:限界)

具体例はそのまま書かず、次のように抽象化します。

- “for example …” → “for example”自体を消して「一般的に」へ
- 固有名詞・数字 → “some / many / in some cases” などへ
- 細かい説明 → “This can lead to … / This may result in …” の1フレーズへ

また、原文の言い回しを丸ごと使いすぎないように、キーワード以外は言い換えます。

---

➤ 7) 手順③ 見直し(3分)―採点者チェックを再現する

次の4つだけ確認すれば十分です。

1. 語数が60~70語か(超過・不足なし)
  2. 3段落の要点が入っているか(1つでも抜けていないか)
  3. 内容が原文から逸れていないか(自分の意見が混ざっていないか)
  4. 致命的なミス(主語・動詞・複数形・スペル)がないか
- 

➤ 8) 減点されやすい失敗(準1級で特に多い)

- 語数オーバー(70 語超):今は語数が厳格。1 語でも超えると危険
- 語数不足(60 語未満):情報不足と判断されやすい
- 原文のコピペが多い:言い換え不足で語彙・構成が伸びにくい
- 段落のどれかが抜ける:内容点が落ちる典型
- 下書きに時間を使いすぎる:清書不足→ミス増

### 付録① 使えるディスコースマーカー最小セット(準 1 級用)

準 1 級の要約で大事なのは、「多く覚える」ではなく、少数を確実に使って論理を見せることです。下のセットだけで十分戦えます。

#### A. 背景・導入(第 1 文で使う)

- Recently, / In recent years,(近年)
- As ~,(~なので/~につれて) 例:As public concern has grown, ...
- With + 名詞,(~という状況で) 例:With rising costs, ...

#### B. 追加・理由(第 2 文で使う)

- Moreover, / In addition,(加えて)
- This can lead to ~.(~につながり得る)
- This may result in ~.(~という結果になり得る)
- One key reason is that ~.(重要な理由の 1 つは~)

#### C. 対比・譲歩(第 3 文で必須)

- However,(しかし)
- On the other hand,(一方で)
- While ~, ...(~ではあるが...)

#### D. 結び(必要なときだけ)

※60~70 語だと結論は「入れなくても OK」。入れるなら短く。

- Overall,(全体として)
- Thus,(したがって)

#### 使い方の鉄則(準 1 級要約)

- 3 文なら:第 1 文 = 導入(Recently/As/With) / 第 2 文 = 追加(Moreover) / 第 3 文 = 対比(However/On the other hand)
- マーカーは入れすぎない:1 文に 1 個で十分
- for example / for instance は基本削る(要約では例は抽象化)

### 付録② 60~70 語に合わせる「短縮/増量テク」

#### 1) 短縮テク(70 語を超えそうなとき)

##### A. 例・数字・固有名詞を消す

- for example / specific cases / detailed statistics  
→ 削除して一般化 例:“such as A and B” → “in some cases”

B. 「言い換え」より「圧縮」を優先

- “has the effect of reducing” → reduces
- “a large number of” → many
- “due to the fact that” → because

C. 3つ並列を2つにする(情報は落とすすぎない)

- reduce waste / save resources / lower costs  
→ 2つ残して1つを統合

例: reduce waste and conserve resources(環境面をまとめる)

D. 関係詞節を削って分割 or 句にする

- “..., which may lead to ...”  
→ “..., possibly lowering ...”  
または  
→ “This may lower ...” (短くなることが多い)

E. 主語を繰り返さない

- “Companies... Companies...”  
→ This / Such efforts / They で受ける

---

2) 増量テク(60語に届かないとき)

A. 「主張+理由」を1フレーズ足す

- “because ~”
- “by doing so”
- “in the long run”(多用はNG)

B. メリット or デメリットを「もう1観点」だけ補う

- 環境面だけ → 経済面を一言追加
- 経済面だけ → 消費者への影響を一言追加

C. 抽象名詞を補って自然に増やす(安全)

- impact / concern / cost / convenience / protection  
例: “raise concerns about safety” のように名詞で増やす

D. 1文を2文に分ける(最終手段)

関係詞でまとめて短くなりすぎた場合、2文に分けると自然に語数が増えることが多いです。

---

3) 最強の語数調整チェック(3秒でできる)

- 60未満: デメリット側に1フレーズ足す(例: raise concerns about ~)
- 70超: 例・修飾語(especially / in many cases)を削る

### 付録③ 0点答案・減点答案・高得点答案の比較(同一素材)

ここでは、前回扱った「包装削減」系の文章(3段落:背景→利点→欠点)を想定して、同じテーマで答案例を3種類示します。

※準1級の語数(60~70語)に合わせます。

#### A. 0点になり得る答案(要約になっていない例) ✕

I think reducing wrapping is a great idea. We should protect the environment, so everyone must use less packaging. In my opinion, governments should make strict rules, and people need to change their lifestyle. This is important for our future.

なぜ0点になり得るか

- 自分の意見(I think / should)が中心で、原文要約になっていない
- 原文にある 利点(資源・コスト)や欠点(破損・追加費用) が抜けている
- 内容点が成立しない(=要約として不十分)

---

#### B. 減点されやすい答案(要点不足・言い換え不足) △

Nowadays, companies are reducing wrapping materials. This reduces waste and helps the environment. However, there are some drawbacks. Products may be damaged during transportation, and people may need to pay for wrapping when buying gifts. Some people do not like this.

どこで減点されるか(具体)

- 第2段落の要点が不足:原文の「資源節約」「コスト減→価格」の要点が欠落
- “Some people do not like this” が曖昧で幼い(準1級語彙として弱い)
- 構成はあるが、内容が薄く、語彙点が伸びにくい

## 2 要約問題…2025年度 第2回 英検 英検準1級

- Read the article below and summarize it in your own words as far as possible in English.
  - Summarize it between 60 and 70 words.
  - Write your summary in the space provided on Side A of your answer sheet. Any writing outside the space will not be graded.
- 

Some crops, such as rice and wheat, are harvested by cutting off the top of the plant. When farmers gather such crops, they leave the bottom part in the ground. This part is called stubble. Farmers need space to plant their next crops, so some of them burn the stubble. Now, some countries want to make a law that stops farmers from doing this.

Supporters of the law believe it is important. People's health will be protected. This is because when stubble is burned, smoke containing harmful chemicals is released. It can travel long distances, so the law would benefit the health of both rural and urban populations. There is another advantage to stopping stubble burning. The quality of soil on farms can be maintained. There are small organisms, such as bacteria, in the soil that make crops grow more easily. When stubble is burned, the ground becomes extremely hot, which kills these organisms. This will not happen if stubble burning is banned.

However, opponents of the law are worried. Removing stubble from fields can be very difficult. Without fire, farmers need to buy specialized mechanical equipment to get rid of it. This equipment often costs a lot, so it is impossible for many farmers to afford.

## 全訳

米や小麦などの作物の中には、植物の上部を刈り取ることで収穫されるものがある。農家がそのような作物を収穫すると、下の部分は地面に残される。この部分は「刈り株(stubble)」と呼ばれる。農家は次の作物を植えるためのスペースが必要なため、刈り株を燃やす人もいる。現在、これを禁止する法律を作ろうとしている国もある。

この法律の支持者は、その重要性を信じている。刈り株が燃やされると、有害な化学物質を含む煙が放出されるため、人々の健康が守られるからである。その煙は長距離を移動することができるため、この法律は農村部と都市部の両方の人々の健康に利益をもたらす。また、刈り株焼却を止めることには別の利点もある。農地の土壌の質を保つことができるのである。土壌には、作物の成長を助ける細菌などの小さな生物が存在している。刈り株が燃やされると地面が非常に高温になり、これらの生物が死んでしまう。刈り株焼却が禁止されれば、これは起こらない。

しかし、この法律の反対者たちは懸念している。刈り株を畑から取り除くのは非常に難しい場合がある。火を使わない場合、農家は刈り株を処理するために特別な機械設備を購入する必要がある。その設備は高価なことが多く、多くの農家にとっては購入できないのである。

## 解答の指針

原文(要旨)

- 作物収穫後に残る stubble(刈り株) を燃やす農業慣行
- それを 禁止する法律 を作ろうとする国がある
- 賛成派:健康・環境・土壌保全
- 反対派:費用・設備負担が大きい

---

解答の指針

① 高得点につながる具体ポイント(採点基準に直結)

以下は、準1級の実際の採点者視点を意識したチェックポイントです。

---

①【内容】何を「必ず」入れるべきか

この英文の要点は、準1級でも「3点セット」です。

1. 背景・話題

- stubble(収穫後に残る刈り株)
- 焼却を禁止する法律の検討

2. 賛成意見(プラス面)

- 健康被害の防止(有害な煙)
- 土壌の質の維持
- 微生物の保護 → 作物成長

3. 反対意見(マイナス面)

- 刈り株除去の困難さ
- 高価な機械が必要

- 農家にとって経済的負担

👉 準1級でも、どれか1つが欠けると内容点は大きく下がります。

逆に、健康+土壌+費用の3観点がそろると内容点は非常に安定します。

---

## ②【構成】なぜ「3文構成」が最強なのか(準1級でも同じ)

原文は明確に、

- 第1段落:背景・状況
- 第2段落:賛成理由
- 第3段落:反対理由

という構造です。

👉 したがって、

- 1文=1段落対応
- 採点者が「構造を瞬時に把握」できる
- Organization(構成)で失点しにくい

という利点があります。

※ 2文構成も可能ですが、3文構成が最も安全です。

---

## ③【語彙】評価される言い換えの具体例(準1級版)

原文表現	要約での処理
burn stubble	stubble burning
stops farmers from doing this	banning stubble burning
smoke containing harmful chemicals	harmful smoke / polluted air
benefit health of rural and urban populations	protect people's health
small organisms such as bacteria	beneficial organisms
specialized mechanical equipment	expensive equipment / costly machinery

👉 完全な言い換えは不要。

「意味保持 × 圧縮」が最優先です。

---

## ④【文法】準1級でも「安全構文」が勝つ理由

- 仮定法・倒置・分詞構文 → 不要
- 長い関係詞節 → リスク
- 評価されるのは  
明確な主語+論理接続+正確さ

👉 要約は「英文解釈力」のテストであり、表現力アピールの場ではありません。

---

② 模範解答①(標準・最も安定型)【詳細解説】

Some countries are considering banning the burning of crop stubble left after harvesting. Supporters argue that stopping this practice would protect people's health by reducing harmful smoke and would also improve soil quality by preserving beneficial organisms. However, opponents worry that removing stubble without fire requires expensive equipment that many farmers cannot afford.

語数:69 語

---

和訳(模範解答①)

いくつかの国では、収穫後に畑に残る作物の刈り株を焼く行為を禁止することが検討されている。賛成派は、有害な煙を減らすことで人々の健康を守り、さらに有益な微生物を保つことで土壌の質も向上すると主張している。しかし反対派は、火を使わずに刈り株を除去するには高価な機械が必要で、多くの農家には負担できないと懸念している。

---

① 第1文の役割と評価ポイント

Some countries are considering banning the burning of crop stubble left after harvesting.

✓ 原文との対応

- some countries want to make a law
- stubble burning

✓ 評価される理由

- Some countries:主語を一般化
- considering banning:検討段階を正確に反映
- crop stubble left after harvesting:定義を1フレーズで処理

👉 「何の話か」が一瞬で分かる導入。構成点が非常に安定。

---

② 第2文の役割と評価ポイント(最重要)

Supporters argue that stopping this practice would protect people's health by reducing harmful smoke and would also improve soil quality by preserving beneficial organisms.

✓ 原文との対応

- protect health
- harmful chemicals in smoke
- soil quality
- bacteria and organisms

✓ 表現上の工夫

- Supporters argue that ~: 準1級らしい客観表現
- by ~ing を2回使用 → 因果関係を簡潔に
- beneficial organisms: bacteria を抽象化

✓ 評価される理由

- 内容点: 満点候補
  - 語彙点: 準1級水準
  - 文法点: 安全かつ論理明確
- 

③ 第3文の役割と評価ポイント

However, opponents worry that removing stubble without fire requires expensive equipment that many farmers cannot afford.

✓ 原文との対応

- difficult to remove stubble
- specialized mechanical equipment
  - costs a lot

✓ 表現上の工夫

- However: 明確な対比
- opponents worry that ~: 感情語を排した客観表現
- cannot afford: 経済的制約を自然に表現

👉 欠点を「費用」に一点集中。語数効率が非常に高い。

---

③ 模範解答②(安全・やや抽象型)

Some governments plan to ban stubble burning after crops are harvested. Supporters say this would reduce health risks caused by polluted air and help maintain soil conditions by protecting small organisms. In contrast, critics point out that farmers may face financial difficulties, as removing stubble without burning often requires costly machinery.

語数: 65 語

---

和訳(模範解答②)

一部の政府は、作物収穫後の刈り株焼却を禁止しようとしている。賛成派は、空気汚染による健康被害を減らし、小さな生物を守ることで土壌環境を維持できると述べている。一方で反対派は、焼却せずに刈り株を除去するには高価な機械が必要となり、農家が経済的困難に直面すると指摘している。

### 3 英検<sup>®</sup>準1級 予想問題

- Read the article below and summarize it in your own words as far as possible in English.
  - Summarize it between 60 and 70 words.
  - Write your summary in the space provided on Side A of your answer sheet. Any writing outside the space will not be graded.
- 

In recent years, the use of chemical pesticides in agriculture has become a major concern. Farmers often rely on pesticides to protect crops from insects and disease, allowing them to increase food production. However, the excessive use of these chemicals has raised questions about their long-term effects.

Supporters of reducing pesticide use argue that it is necessary to protect both the environment and human health. Chemicals used on farms can contaminate soil and water, harming wildlife and entering the food chain. In addition, people living near farmland may be exposed to these substances, which can cause serious health problems over time.

On the other hand, opponents worry that limiting pesticide use could make farming more difficult. Without chemicals, crops may be more easily damaged, leading to lower yields and higher food prices. Some farmers also argue that alternative methods are costly and require special knowledge, making them unrealistic for many agricultural workers.

## 全訳

近年、農業における化学農薬の使用は大きな懸念事項となっている。農家は作物を害虫や病気から守るためにしばしば農薬に頼っており、その結果、食料生産量を増やすことができている。しかし、こうした化学物質の過剰な使用は、長期的な影響について疑問を生じさせている。

農薬使用の削減を支持する人々は、環境と人間の健康の両方を守るためにそれが必要だと主張している。農地で使われる化学物質は土壌や水を汚染し、野生生物に害を与え、食物連鎖に入り込む可能性がある。さらに、農地の近くに住む人々はこれらの物質にさらされるおそれがあり、時間の経過とともに深刻な健康問題を引き起こす可能性がある。

一方で、反対派は農薬の使用を制限すると農業がより困難になるのではないかと懸念している。化学物質がなければ、作物はより被害を受けやすくなり、その結果、収穫量の減少や食料価格の上昇につながる可能性がある。また、一部の農家は、代替手段は高コストで専門的な知識を必要とするため、多くの農業従事者にとって現実的ではないとも主張している。

### 模範解答①(標準・最も安定型)

Reducing the use of chemical pesticides in farming has become a major issue. Supporters argue that limiting these chemicals would protect the environment and human health by preventing pollution of soil, water, and food. However, opponents worry that without pesticides, crop yields could decrease, food prices might rise, and alternative farming methods would be too costly for many farmers.

語数:66 語

農業における化学農薬の使用削減は、大きな課題となっている。賛成派は、農薬の使用を制限することで、土壌・水・食物の汚染を防ぎ、環境と人間の健康を守ることができると主張している。しかし反対派は、農薬がなければ作物の収穫量が減少し、食料価格が上昇し、代替的な農法は多くの農家にとって高コストになりすぎると懸念している。

---

### 模範解答②(やや抽象度を上げた安全型)

The heavy use of pesticides in agriculture has raised environmental and health concerns. Supporters believe reducing their use would prevent pollution and lower health risks for people and wildlife. In contrast, critics point out that restricting pesticides may damage crops, reduce food production, and increase costs, since alternative methods often require expensive equipment and specialized knowledge. 語数:64 語

農業における農薬の大量使用は、環境や健康に関する懸念を引き起こしている。賛成派は、使用を減らすことで汚染を防ぎ、人々や野生生物の健康リスクを下げられると考えている。一方で反対派は、農薬を制限すると作物が被害を受け、生産量が減り、代替手段には高価な機器や専門的な知識が必要となってコストが増大すると指摘している。